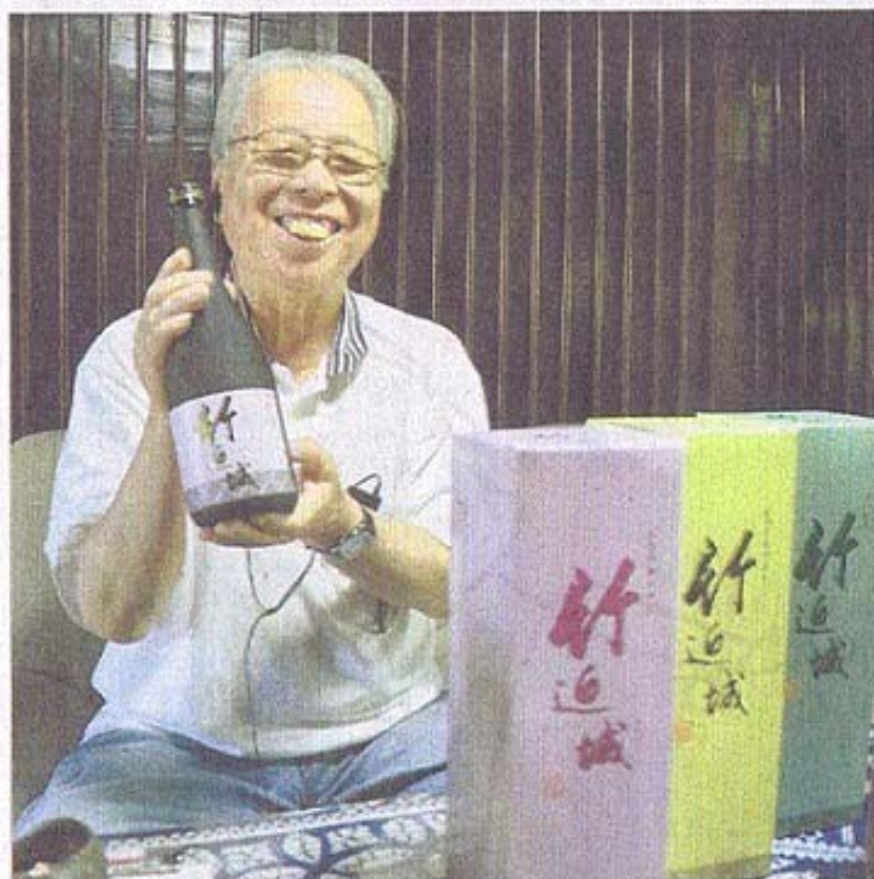


## 新品種の芋で焼酎、人気

合志の新たな特産品にしよう  
と、自ら栽培している新品種の  
芋を原料とする芋焼酎「竹迫城」  
を売り出した。銘柄は同じだが、  
「すいおう」「ジョイホワイト」  
「ムラサキマサリ」の品種ごと  
に製造しており、県内外から注  
文が相次ぐほどの人気ぶりだ。  
約半世紀にわたって旧合志町  
で農業を営んできた。一帯は米  
や麦、野菜など何でも豊富に採  
れるが、特産品をつくることが  
長年の悲願だった。

2004年、九州沖縄農業研  
究センター(合志市須屋)の元  
所長で「芋博士」と呼ばれる山  
川理氏と出会ったことが転機と  
なった。「芋の新品種で焼酎を



農業法人「山渡会」代表 渡辺直哉さん 81

造ろう」。意気投合し、人吉市  
の酒造会社につけあつてできた  
のが「竹迫城」だ。

商品化にあたり、消費者目線  
を取り入れようと、05年、異業  
種の人たちで「山渡会」を設立。  
アイデアを出し合ってラベルを  
考案したり、販路を拡大したり  
した。今では東京の百貨店にも  
納入している。

現在の夢は、「自分たちの手  
で竹迫城を醸造すること」。80  
歳を超えた今も情熱は衰えな  
い。

竹迫城は720ミリ・びりり1  
680円(税込み)。注文は山  
渡会(096・248・503  
2)へ。